

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-26283

(43)公開日 平成8年(1996)1月30日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D	19/44	A		
	19/24	Z		
	85/00	H	0330-3E	

審査請求 未請求 請求項の数6 F D (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平6-181823

(22)出願日 平成6年(1994)7月11日

(71)出願人 000110251

トビー工業株式会社

東京都千代田区四番町5番地9

(72)発明者 丸山 利美

東京都千代田区四番町5番地9 トビー工

業株式会社内

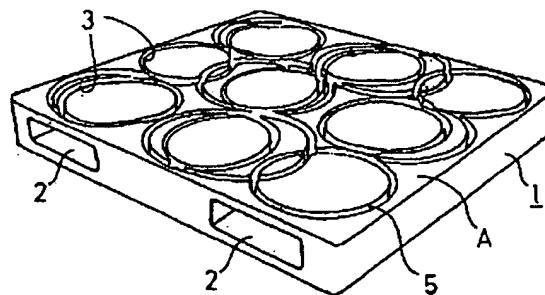
(74)代理人 弁理士 吉村 公一

(54)【発明の名称】 自動車用ホイールの運搬および保管用パレット

(57)【要約】 (修正有)

【目的】パレットの表面に複数の環状の溝や突出リブを形成することにより、トレーを不要とし、また環状の溝や突出リブの径を異ならしめることにより複数種のホイールに対応させる。

【構成】ホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成し、また必要に応じて反対側の載置面に、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するようにした。これによりホイールの運搬に際してパレット自体にトレーを兼用させてトレーの位置ずれの問題や、パレットに対するトレーの固定作業等を不要にし、しかも大きさの異なる複数種のホイールの運搬、ならびに保管にも対応できる。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成してなることを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

【請求項2】ホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の突出リブを、それぞれの径毎に複数形成してなることを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

【請求項3】片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成したことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

【請求項4】片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の突出リブを、それぞれの径毎に複数形成したことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

【請求項5】片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記したA面の複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝をそれぞれの径毎に複数形成し、さらに上記A面とB面におけるそれぞれの載置面の色彩を異ならしめたことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

【請求項6】片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記したA面の複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の突出リブをそれぞれの径毎に複数形成し、さらに上記A面とB面におけるそれぞれの載置面の色彩を異ならしめたことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレット。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、自動車用タイヤホイールの運搬ならびに保管用に用いられるパレットの改良に関し、ホイールを安定的に載置できるとともに、運搬中におけるホイールの位置ずれや荷崩れをなくし、しかも径の異なる複数種のホイールにも対応できるようにする

ことを目的とする。

## 【0002】

【従来の技術】自動車用タイヤホイールの運搬や保管には、ホイール相互の間隔を一定に保持して安定性を保持させる必要から、一般的にはホイールの径に合わせた円形の凹部を形成し、あるいはホイールフランジ部を受け入れる環状の溝を形成したトレーを用意し、これを平坦なパレットの上面に載せたうえで、トレーの上面にホイールを順次積載して運搬し、あるいは保管するようにしている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記した従来の方法による場合においては、運搬中に多数のホイールを載置したトレーがパレット上において位置ずれをおこし、バランスを失って転倒する危険があるために、トレーをパレット上に固定するための補助具を別途用意する必要があり、コスト的にもまた作業性の面においても合理性を欠くものであった。またそればかりでなく、上記のトレーを使用する場合においては、ホイールの大きさが異なる毎に、その径に対応させた別のトレーを多数種用意する必要があり、その製作費や保管性、あるいはそれらの選択作業性のいずれの面においても問題があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】そこで本発明にあっては、上記した従来技術における種々の課題を解決し、ホイールの運搬に際して、パレット自体にトレーを兼用させてトレーの位置ずれや補助具による固定作業を一切不要とし、しかも大きさの異なる複数種のホイールの運搬、ならびに保管にも対応できるようにしたものであって、具体的にはホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成してなることを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレットに関する。

【0005】また本発明は、片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成したことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレットに関する。

【0006】さらに本発明は、片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記したA面の複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環

3

状の溝または突出リブをそれぞれの径毎に複数形成し、さらに上記A面とB面におけるそれぞれの載置面の色彩を異ならしめたことを特徴とする自動車用ホイールの運搬および保管用パレットに関する。

【0007】

【作用】ホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成してなるパレットの場合においては、運搬または保管しようとする複数のホイールを、パレット上における該ホイールの径に合う環状の溝内、あるいは突出リブの内側に、順次そのフランジをはめ込んで積載する。また片側(A面)のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側(B面)のホイールの載置面には、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成したパレットである場合においては、A B両面に形成した複数種の環状の溝または突出リブの中から当該ホイールの径に合致するものを選び、その面の環状の溝内、または突出リブの内側にホイールのフランジ部をはめ込んで順次ホイールを積載していくものとする。

【0008】さらに片側(A面)のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側(B面)のホイールの載置面には、上記したA面の複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブをそれぞれの径毎に複数形成し、さらに上記A面とB面におけるそれぞれの載置面の色彩を異ならしめたパレットの場合にあっては、載置面の色彩如何によって、該色彩に対応する固有のホイール径の環状の溝または突出リブが施されているために、さしあたり運搬または保管しようとするホイールの径に合致する環状の溝または突出リブを速やかに見つけることができる。

【0009】

【実施例】以下において本発明の具体的な内容を図1の実施例をもとに説明すると、1はパレット、3～6は該パレットの平面または底面に施された環状の溝をあらわす。パレット1には一側の側面から他側の側面にかけて貫通されたリフト爪差し込み溝2・2が形成されるとともに、該パレット1の材質についてはこの場合、その全体を合成樹脂にて一体成型されている。しかしかならずしもこのような材質のものに限られるものではなく、このほかにも木製、あるいは金属製等種々の材質のものが考えられる。また該パレット1はその片側(A面)と他側(B面)とを2分割して背中合わせの状態に張り合わせる構成としてもよい。

【0010】さらにパレット1には、その片側(A面)

1

のみに、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成するようにしてもよいが、図1～4の実施例には他側(B面)にも、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝を、それぞれの径毎に複数形成するようにした構成のものがあらわされている。

【0011】すなわち、パレット1の片側(A面)には、図2にもあらわされているように、13インチサイズのホイール径に対応する環状の溝3が、上段、中段、下段にそれぞれ各3箇所ずつ、合計9箇所形成され、さらにこれらと一部重複させながら15インチサイズのホイール径に対応する環状の溝5が、上段、中段、下段にそれぞれ各2箇所ずつ合計6箇所に、前記した各環状の溝3と重なり合うようにして形成されており、これにより径の異なる13インチおよび15インチの2種のサイズの自動車用ホイールに対応した環状の溝3および5が、それぞれの径毎に9箇所および6箇所と、それぞれ複数形成されている。

【0012】またパレット1の他側(B面)には、上記した複数種(本実施例では2種)の自動車用ホイールとは異なる径の、別の2種の自動車用ホイールに対応した環状の溝4および6が形成されている。すなわちB面には図3にも示されているように、14インチサイズのホイール径に対応する環状の溝4が、上段に3箇所、中段に2箇所、下段に3箇所の、合計8箇所形成され、さらにこれらと一部重複させながら16インチサイズのホイール径に対応する環状の溝6が上段に1箇所、その左右斜め下に2箇所、さらにその両者の中間であって、やや下方に1箇所、そしてさらに下段の左右両端部に2箇所の合計6箇所に、前記した各環状の溝4と重なり合うようにして、それぞれの径毎に複数形成されている。

【0013】パレット1は、上記したようにA面に13インチサイズと15インチサイズの環状の溝3および5が、さらにB面に14インチサイズと16インチサイズの環状の溝4および6が、それぞれ形成されているが、実際にホイールを載せる場合には、それらの各サイズのうちいずれか1種のみが利用されるものであり、したがってこの場合には載せようとするホイールのサイズに合う環状の溝が形成されているA面またはB面のいずれか一方の側を上にして、ホイールの縁(フランジ)をサイズに合った環状の溝内にはめ込むことにより、各ホイールの位置決めをおこなう。

【0014】またこの場合において、A面とB面との色彩を異ならしめておくことパレット1の表裏の判別が一層容易となり、載せようとするホイールのサイズに適合する環状の溝が施されている面を選択する作業が簡単におこなえる。なお上記した実施例においては13～16インチサイズのホイールに適合するパレットの構成について説明したが、必ずしもこれらのサイズののものに限ら

5

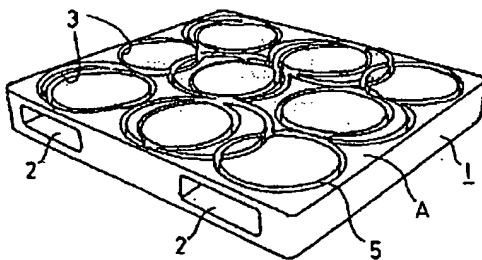
れるものではなく、またAまたはB面の少なくとも一方に3種以上のホイールサイズの環状の溝を形成してもよく、さらにパレット1のA面には内方に凹入する環状の溝を施すとともに、B面には反対にパレットの表面上に突出する環状の突出リブを形成し、あるいはAB両面共に環状の突出リブを形成して異なるサイズの突出リブが重なる部分を互いに切り欠いて不連続の環状を形成するようにしてもよい。

【0015】

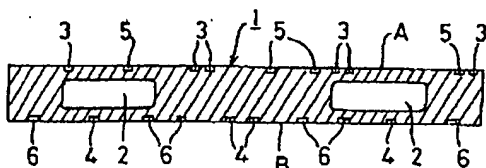
【発明の効果】本発明は上記した通り、ホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成してなるものであるために、ホイールの運搬に際してパレット自体にトレーを兼用させてトレーの位置ずれの問題や、パレットに対するトレーの補助具による固定作業を一切不要とし、しかも大きさの異なる複数種のホイールの運搬、ならびに保管にも対応できる。

【0016】また片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記した複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成した場合においては、運搬および保管する径の異なる多種類の自動車用ホイールに対応でき、汎用性を向上させることができる。

【図1】



【図4】



6

【0017】さらに片側（A面）のホイールの載置面に、径の異なる複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブを、それぞれの径毎に複数形成するとともに、他側（B面）のホイールの載置面には、上記したA面の複数種の自動車用ホイールとは異なる径の、別の複数種の自動車用ホイールに対応した環状の溝または突出リブをそれぞれの径毎に複数形成し、さらに上記A面とB面におけるそれぞれの載置面の色彩を異ならしめた場合においては、パレットの表裏の判別が一層容易となり、載せようとするホイールのサイズに適合する環状の溝または突出リブが施されている面を選択する作業がより簡単におこなえる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例をあらわしたパレットの斜視図。

【図2】本発明の一実施例をあらわしたパレットの平面（A面）図。

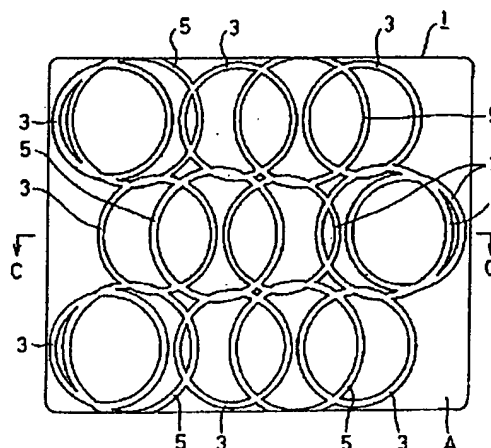
【図3】図2にあらわしたパレットの底面（B面）図。

【図4】図2におけるC-C線断面図。

【符号の説明】

- 1 パレット
- 2 リフト爪差し込み溝
- 3 環状の溝
- 4 環状の溝
- 5 環状の溝
- 6 環状の溝

【図2】



(5)

特開平8-26283

【図3】

